

6教心第 号
令和6年(2024年)4月 日

市町村(学校組合)教育委員会
生徒指導担当課長 様

長野県教育委員会事務局
心の支援課長

学校に行きづらい子ども・保護者と学校を結ぶ「コミュニケーションシート」について(周知)

日頃から、長野県の教育行政の推進に格段のご配慮をいただき、深く感謝申し上げます。

文部科学省は、令和5年(2023年)に「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」(COCOLOプラン)を取りまとめ、不登校の子どもたちが学びたいと思ったときに学べる環境整備を、学校、県や市町村の教育委員会、民間団体が連携して、子どもや保護者への支援を行っていくことが重要であることを改めて示しました。

また、平成28年(2016年)に成立した義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律(教育機会確保法)では、不登校の子どもたち一人一人の状況に応じた必要な支援が行われるようにすること、また令和4年(2022年)に成立したこども基本法では、子どもの教育に係る施策について、関係機関や地域で子どもへの支援を行う民間団体が連携して取組んでいくことが定められました。

長野県では、不登校の子どもたちの将来の社会的自立を目指し、保護者、学校、教育委員会、民間団体等が連携し、不登校の子どもたちの多様な学びの場づくりの支援に取り組んでいるところです。その中で、不登校の子どもたちの保護者が、学校との情報共有や子どもたちの多様な学びの場に関する情報を得にくい状況にあることがわかりました。

そこで、この度、不登校児童生徒等の学びの継続支援に関する懇談会での議論を経て、学校に行きづらい子ども・保護者と学校を結ぶ「コミュニケーションシート」を作成いたしました。このシートは、これまで保護者が電話連絡や支援会議等で学校にお伝えいただいていた、お子さんに関わる様々な気持ち(思いや願い)に関して、学校との情報共有を促すような項目で整理し、子どもの育ちや学びを支える支援者同士で支援の方向性を確認・明確にしていくきっかけとなることを目的として作成しました。

このシートをご活用いただき、学校と子ども・保護者の円滑なコミュニケーションが図られていくことを心から願っています。

貴教育委員会におかれましては、所管の学校や教育支援センター、不登校支援に関わる民間団体や施設等に本シートを御周知いただけますようお願いいたします。なお、シート活用に当たっては、別紙を御参照ください。

1 本シートの配布方法

本シートは、不登校の子どもの育ちと学びを支える保護者、学校職員、教育委員会、教育支援センター、居場所・フリースクール関係者等の支援者に幅広く使っていただくことを想定しております。

学校から本シートを配付していただいたり、長野県教育委員会事務局心の支援課のホームページからダウンロードしていただき、記入・活用いただくことが可能です。(PDF形式、Word形式を掲載しております)

以下のURLか二次元コードからホームページにアクセスしてください。

<https://www.~~~~~>



2 本シートの記入・提出

本シートは、子どもの最善の利益を考慮した上で、子ども・保護者・支援者の皆さんとコミュニケーションを取りながら記入してください。

本シートは、すべての項目を記入することを求めるものではありません。記入できる範囲で記入していただき、特に支援者の間で共有しておきたい点について、子どもの思いに寄り添いながら記入してください。

なお、子どもの気持ち（思いや願い）を記入する箇所については、保護者から学校のことを聞かれることが心理的負担になってしまう場合や、保護者が聞き取れる状況にない場合もありますので、くれぐれも無理はしないようにしてください。保護者による記入が難しい場合や記入する際に迷いが生じる場合は、その子をよく知る学校職員、民間施設や親の会等の支援者と相談しながら記入してください。

学校に直接提出することが難しい場合は、教育委員会や教育支援センター、居場所・フリースクール等の民間施設を通じて学校に提出していただいても構いません。

3 学校の対応

学校は、支援会議等で内容を確認するなど、担任や関係職員、管理職と情報共有をし、子どもや保護者の気持ちに寄り添いながら、支援を行っていただくようお願いいたします。

なお、本シートは、学校に提出して終わるものではなく、不登校の子どもたちや保護者と学校がコミュニケーションをとりながら、必要に応じて随時更新されていくことを前提としています。常に子どもの最善の利益を考えて、子どもにとってよりよい支援につながるようご活用ください。

4 本シートの加除・修正

本シートの質問項目等を加除・修正したい場合は、Word形式データを使って自由に変更し使用していただいて構いません。変更して使用する場合、不登校児童生徒等の学びの継続支援に関する懇談会に届け出る必要はありませんが、当懇談会が作成したシートを基に作成したことの明記をお願いします。

なお、本シートの各項目の表現等について、何かお気づきの点があれば、今後の改善のために、ぜひご連絡ください。

5 本シートに関する問合せ

本シートの活用についてご不明な点がございましたら、不登校児童生徒等の学びの継続支援に関する懇談会事務局（長野県教育委員会事務局心の支援課生徒指導係内）までお問い合わせください。

学校に行きづらい子ども・保護者と学校を結ぶ コミュニケーションシート

子どもが不登校となり、学校とのやりとりで困ったこととして「欠席の連絡を毎日学校にしなくてはいけないのが苦しい」、「給食費や教材費などの徴収を止めてもらうよう言い出せない」といった声が、保護者から聞かれることがあります。

一方、学校からも、「教育支援センターやフリースクールなど外部機関を紹介することにより、子どもや保護者が学校から見捨てられたと感じてしまうのではないか」といった声があり、保護者と学校関係者とのコミュニケーションの難しさが指摘されています。

本シートは、これまで保護者が電話連絡や支援会議などで学校にお伝えいただいていた、お子さんに関わる様々な気持ち（思いや願い）に関して、学校との情報共有を促すような項目で整理し、子どもの育ちや学びを支える支援者同士で支援の方向性を確認・明確にしていくきっかけとなることを目的として作成しました。

このシートをご活用いただき、学校と子ども・保護者の円滑なコミュニケーションが図られていくことを願っています。

「学校に行きづらい子ども・保護者と学校を結ぶコミュニケーションシート」

令和 年 月 日

(学校名・校長名) _____ 先生

お子様のお名前 _____

保護者のお名前 _____

※ 各質問は複数選択が可能です。該当するものにチェックをしてください。

0 このシートの内容を共有してほしい関係者を教えてください。

- 教育委員会 学校 民間施設（フリースクール・居場所関係者）
 その他（ _____ ）

1 保護者から学校への出欠席の連絡は、次の方法を希望します。

(1) 学校への連絡方法について

- メール 電話 FAX 他の児童・生徒を通じてお伝えします
 学校からの情報配信アプリ その他（ _____ ）

(2) 学校への連絡の頻度について

- （出欠に関わらず）毎日連絡します 欠席する場合のみ連絡します
 登校する場合のみ連絡します その他（ _____ ）

2 学校から保護者への連絡については、次の方法を希望します。

(1) 学校からの連絡の頻度と手段について（当てはまるものに○をしてください）

- 毎日、電話 / メール での連絡を希望します
 毎日ではなく、週に数回の電話 / メール での連絡を希望します
 週に1回程度の電話 / メール での連絡を希望します
 月1回程度の電話 / メール での連絡を希望します
 どうしても必要な事項のみ 電話 / メール での連絡を希望します
 その他（ _____ ）

(2) 学校からの連絡について

- 担任の先生 担任以外の学年の先生 保健の先生 スクールカウンセラー
 スクールソーシャルワーカー 教頭先生 校長先生 特別支援学級の先生
 部活動の先生 校内サポートルーム（相談室など）担当の先生
 特定の先生（先生のお名前：_____先生） その他（ _____ ）

(3) 子ども本人への連絡について

- 子どもの状況を鑑み、今は連絡を控えてください
 本人が希望する場合は、連絡を行ってください（希望内容 _____）
 学校から本人に連絡が必要な場合は、事前に相談してください
 その他（ _____ ）

(4) 学校が本人に連絡可能な場合の連絡方法について

- 電話 メール Google Classroomなどのオンライン 家庭訪問による直接対面
 メモ帳などの連絡票（先生の自筆） その他（ _____ ）

(5) 学校からの配付物について

- 配付物の全て（お便り、各教科の授業プリント、各教科の課題など） 学校からのお便り
 各教科の授業プリント 各教科の課題 提出が必要な書類
 学校からの配付物（必要最低限のものを除き不要）
 その他（ _____ ）

(6) 配付の頻度について

- 毎日 週1回 月1回 2週間に1回 その他 ()

(7) 受け取り方法について

- 保護者が学校に受け取りに行きます 学校から家庭に届けてください(投函・対面))
 兄弟姉妹・他の児童・生徒に届けてください(特定の児童生徒がいれば、児童・生徒名:)
 その他 ()

3 集金・学用品については次のような方法を希望します。

(1) 学年(学級)費・旅行会計などの徴収について

①学年(学級)費

- 毎月支払う 月々の支払いを止めて、登校再開した際に、購入が必要な物品のみ支払う)
 支払いを止める その他 ()

②旅行貯金

- 毎月支払う 月々の支払いを止めて、行事に必要な時に一括で支払う)
 その他 ()

(2) 給食費について

- 毎月支払う いったん給食を止めて、支払いも止める)
 その他 ()

(3) 教材(教材費)について

- 全て購入する 必要な教材のみ購入する 購入せず、必要に応じて自分で調達する)
 その他 ()

4 学校から提供してほしい情報は次のとおりです。

- 本人、又は保護者が相談し、思いを伝えられる場所・人の情報 学校外での学びの場の情報)
 校内教育支援センター(相談室、校内フリースクールなど)の情報
 学校外での公的な学びの場(教育支援センターなど)の情報
 学校外での民間の学びの場(居場所・フリースクールなど)の情報
 不登校の親の会情報 その他 ()

5 登校の際は、強いストレスを感じるため、次のことを避けられるように配慮を希望します。

- 同年齢との交流・接触交流 異年齢との交流・接触交流 競い合う環境)
 協力し合う環境 孤独な環境 乱暴な児童・生徒との接触 威圧的な環境
 騒がしい環境 静かな環境 その他 ()

6 出席扱いや通知表については、次のように希望します。

- (通っている場合)フリースクールの利用日を出席扱いにすることを希望します)
 (利用している場合)ICT教材による自宅学習を出席扱いにすることを希望します
 フリースクールや自宅での学習を通知表に反映させることを希望します
 上記のいずれも不要です その他 ()

7 子どもと保護者の思いについては、次のとおりです。

(1) 子どもの思い

- 家で休みたい 家で学習をしたい 居場所やフリースクールで活動したい)
 居場所やフリースクールで学習をしたい
 教育支援センター(中間教室)など公的な機関で活動をしたい
 教育支援センター(中間教室)など公的な機関で学習をしたい
 学校内の居場所で活動をしたい 学校内の居場所で学習をしたい
 教室で活動をしたい 教室で学習をしたい 今すぐ心配事の相談をしたい
 その他 ()

